

第5回横芝光町学校適正配置等検討委員会会議録

- 1 開 会 平成29年4月25日 午後1時30分
- 2 場 所 横芝光町町民会館 大ホール
- 3 会議日程 学校適正配置に係る町民アンケート調査結果の説明等
 - (1) 開会前報告事項
 - (2) 開 会
 - (3) 委員長あいさつ
 - (4) 説明及び協議事項
 - ・説 明 学校適正配置に係る町民アンケート調査結果について
 - ・協議事項 アンケート調査結果に係る意見交換
 - (5)平成29年度検討委員会開催計画について
- 4 出席委員 34名
- 5 出席職員 横芝光町教育委員会 教育長 齋藤 明
事務局 教育課長 椎名 富士男
教育課総務班 吉住 康之
教育課総務班 八巻 隆介
教育課総務班 山崎 千恵
教育課総務班 川島 文夫

進 行 本日は、ご多忙の中、学校適正配置等検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の第5回横芝光町学校適正配置等検討委員会の開催に先立ちまして報告事項をお伝えさせていただきます。

始めに、平成28年度末の学校関係人事異動に伴いまして、検討委員の一部の方々に変更がございました。

(委員変更の報告)

続きまして、平成29年度検討委員会の事務局担当職員をご紹介します。

(事務局より紹介)

報告事項は、以上でございます。

進 行 それでは、只今から第5回学校適正配置等検討委員会を開催いたします。始めに、委員長より挨拶を申し上げます。

委員長 (挨拶)
進行 ありがとうございます。
つづきまして、会議次第の3、説明及び協議事項に入ります。
本検討委員会設置要綱第6条の規定に基づき委員長に議長を
お願いします。

委員長 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
まず、(1)の町民アンケート調査の結果について、事務局
から説明をお願いします。

事務局 (アンケート調査報告書を用いて説明)
委員長 それでは事務局より説明がありました。続いて(2)の協議
事項ですが、先程の概要説明とお手元の報告書をご覧ください
まして、委員の皆様から意見を頂きたいと思えます。

A委員 アンケート回答者のうち区域外とあるが。
事務局 区域外就学をしている保護者からの回答区分です。
委員長 保護者へのアンケート依頼の範囲は。
事務局 小学校1年生から中学校3年生までの保護者へ、就学前の
保育園、幼稚園へ通っている保護者の方もこのアンケートを
協力してもらいました。

委員長 それでは、皆さんも色々とお考えをされているところと思
いますが、次回の検討委員会でご意見を頂けたらと思えますが。

A委員 このアンケート結果からどのような意見を出せば良いのか。
結果をみると、大人の特に保護者の女性の回答が多いので、
自分が住んでいる、子供を通わせている学校の子供を考えた
アンケート結果であったと感じる。これを住民全体としての
考えとして言えるのか、基礎資料的なものとするれば良いが、
この結果をどのように捉えればよいのか。

委員長 個人的に考えを申しますと、近隣ではすでに学校の統廃合が
進んでいまして、やはり行政としては委員の皆さんを始めとし
て住民から広く意見をお聞きしないと、色々この件が進まな
いものだという事です。

教育長 色々な意見があるかと思えますが、事務局単独で統廃合を進め
たところもあったそうですが、昔から培ってきた地域を無視し
て進めてしまうと、この話がとんでもない方向へ行ってしまう、

山武郡内の中でもこのような状況を含んでいる市町も有る訳で、横芝光町の今の現状を広く知っていただきたい。とりあえずはここにいらっしゃる委員の皆さんに、まず知っていただいて、アンケート調査の結果をもって、地区住民、保護者の方々にも今後、説明会等で現状を知っていただいて、その後どのようにするのかを検討していき、結論を出していきたいと事務局として考えています。例えば、今年の大総小学校の一年生を例にしますと、入学生として3人しかいません。南条小学校は7人いますが、男が1人女が6人です。このような現状でこのまま6年生に進級することが望ましいのか、このような現状を知っていただいた中で最終的に結論を出していきたいと思うところです。

B 委員 この検討委員会がスタートしてそれなりの時間が立っているので、出来ればこの検討委員会を立ち上げたことと、なぜ検討委員会を立ち上げたかを、出来るだけ早い段階で町民に周知してほしいと思います。他に例を挙げても、町民に話が伝わった時には、決まった組織や委員会などで最終的に決めてしまっていることが多く、急に出た話になってしまわないようにお願いします。あと、意見が出ないようでしたら、その都度皆さんがどう思うのかを話し合っていくような進め方をしてみてはどうでしょうか。あと、アンケート結果ですが、規模が小さい地区、学校の結果を見てしまうと、人数が少ないことでパーセンテージの割合とか捉え方も、他の地区との違いや特性が出るように見えますが、この点について伺いたいと思います。

事務局 ご指摘の点についてはそのような傾向になっているかもしれません。特に、一般住民の方から700人を抽出しましたが、町全体の人口の中で、各地区の人口比率を踏まえた中で700人を振り分けていますので、地区ごとの抽出した人数に差は出てしまいます。

委員長 気になるところがあるとしたら、保護者、学校、児童生徒で約8割の回答を占めているので、一般住民の意見が反映されたものになっているかどうか。あと、情報公開に関しては確かに大事なことでもあるので、広く住民に伝わるよう事務局は検討し

て公開してもらいたいと思います。

中々、ご意見が出にくいというところですので、次の会議までにこの報告書をよくご覧いただきまして、委員の皆さんひとり一人の学校適正配置に関するお考えをまとめていただき、次回の会議の際により多くの意見を伺えたらと思います。

C 委員 この委員会を具体的にどのように進めていくのか、何年位を目途に、最終的にはどのような結論にもっていくのか、そのためにあと何回くらい委員会を開くのかをお聞きしたい。

教育長 先程より適正配置の方向性についてのご意見が出ていますが、本来ですと、この検討委員会の中で方向性を出していただくことがベストと考えています。事務局側から方向性の案を出して進めていくことも方法かもしれませんが、なるべく民主的な方法で委員の皆さんから意見をいただきながら、検討委員会として最終的な方向性を見出してもらいたい、ということです。今回、アンケートの結果が出ましたので、このアンケート結果を改めてご覧いただき、次回の会議の際に皆さんからの意見をまとめていくことで、一つの方向性としての答えが出るのではと思います。

D 委員 次回の会議はアンケート結果を基にとのことでしたが、このアンケート結果を児童と生徒に報告してくれれば、結果を聞いた子供たちの意見を聞けるので、その方が自分としては意見を言い易くなりますので、児童と生徒にアンケート結果を伝えてもらいたいと思います。

A 委員 申し訳ないが、小中学生にはこのアンケート結果は関係無いと思う。子供達をこの話の中に巻き込まない方が良いのでは。私としては、第1回の会議の際に町長から統廃合を安易に考えるべきではない、と明言されことを認識しています。因みに、委員を受けてからですが、何人かの方に、統廃合するのか、と問合せを受けていて、統廃合するための委員会ではないと話をしている。保護者の間ではアンケート調査をしているので、検討委員会が行われていること判っている方が多いが、一般の方は知らない人が多いので、町の広報誌にこの検討委員会の進捗状況を掲載してみてもどうか。

また、今日渡されたばかりのアンケート結果なので何とも言えないが、報告書の中に、分析の概要というのがあるが、これは調査した結果を分析したものと言えるのか、集計した結果が書かれているものと思うが。

事務局 話のありましたアンケート結果の分析の概要について補足させてもらいますと、アンケート結果の集計と製本のみをコンサルタント業者へ委託したものです。当町の現状を知り得ない業者に推測や分析をさせても仕方が無い、させたくなかったのもので、このアンケート報告書は、あくまでも集計結果のみとしてご覧いただき、この集計結果から地区ごとの特性が見えて来るものと思いますので、委員の皆さんはこの集計結果になった理由はどのような理由からかなどをお考えいただき、最終的に皆さんの意見を答申に反映させたいと考えています。

委員長 平成29年度末に答申するのですか。

事務局 第1回の検討委員会において、町長より学校適正配置に係る諮問が提示されました。この諮問に対する答申は、平成29年度末、30年3月を目途にまとめ、この答申をもって検討委員会は一且終了となりますことを説明させてもらっております。

委員長 今年度の検討委員会の開催数は。

事務局 28年度は、概ね2か月に1回の委員会を開催させていただきました。29年度も概ね2か月に1回の開催をしたいところですが、何分にも答申書を作成することから、開催期間を1か月半、場合によっては1か月のペースで開催させていただくことも考えておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

委員長 只今、事務局から来年の3月には町長へ答申をするという説明がありましたが、今年度は大体5、6回の開催になろうかと思えます。

A 委員 42人で意見を出すことは難しいかと。横芝地域、光地域、総務調整の分科会ではなく、大体6から7のグループに分け、テーマごとにも分けて意見交換してみてもどうですか。

委員長 確かに、大勢の中だと中々意見は出しにくいと思います。私もそう思いますので、次回の会議の進め方については、グループに分かれて議論するとか、何らかの工夫を事務局に検討して

もらいたいと思います。

事務局 事務局の方で十分検討させていただき、次回の会議から分けさせていただく場合もある、ということでお願いします。

B 委員 28年度中に予定していた入学者数が29年度までに増えたり減ったりした学校があったかと思います。中には、入学先の人数が少ないからといって、入学者数の多い学校へ入学出来るように、敢えて変更した方もいたのではないのでしょうか。要は、適正配置を考えているということ自体、町民や保護者は知らない人が多い中で、検討委員会だけで話を進めていても、最終的には何を目的にしているのかが分からなくなります。なので、なぜ適正配置を検討しているかをもっとしっかりと説明してもらいたいと思います。

教育長 この検討委員会を立ち上げた目的は、第1回目の検討委員会の時に、趣旨説明として15分から20分位かけて説明はしてあります。その時、説明した内容でお分かりいただけていないのであれば、再度説明したいと思いますが、その時点で説明をしていたということは是非ご理解頂きたい。

委員長 趣旨説明はされているとの説明でしたので、お分かりいただければと思います。

それでは、時間の関係もありますので、以上をもちまして議長の座を終了します。

【終了時間】 午後3時40分